



戦場は一挙に拡大され、下関の駅からは連日、出征兵士が旅立っていきました



甲種合格者のみならず、乙種合格もほとんど応召されていく
俺も丙種合格の安心できないぞ...



昭和17年(九四三年)1月
祖父春齢が七くまります(享年90歳)



この年の暮れも押し詰まった
12月30日



泰男に召集令状が届きます



これは三か月の訓練を受ければ帰される教育召集でした



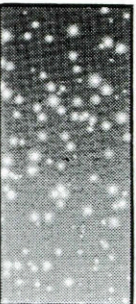
たいしたことはない
三か月したら帰れるんだから...



だがこれは...



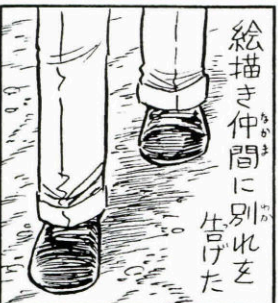
いつ本召集に切り替えられるかわからんぞ



入隊まで十日ばかりの余裕が
ありました



親せきや同僚にあいさつ回り
をすませ...



絵描き仲間
に別れを告げた



学校に顔を出すと



生徒が千人針を縫ってくれました



妻が縫ってくれた赤いお守り袋に家族の髪の毛を入れた



プリキ製のタバコのケースの裏側に妻や子供たちの写真をはめ込みました
遺言も書きました



幼い日に生別した母八千代に...
妻・姉美子に...



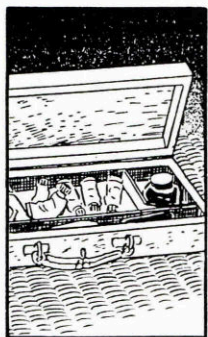
子供たちひとりひとりに



帰れるのですから
どこまでなさうなくても



...うだね



ひにくなものだ...
自分の才能が開花しつづけるときに
人を殺すために戦場にかり出されるとは...!

以下次号